

教科	地歴	科目	科学と人間生活	単位数	2	学年	1	科	機械科
----	----	----	---------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。</li> <li>・科学技術の発展が，今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。</li> <li>・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ，科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。</li> <li>・自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。</li> </ul>
--

2、使用教科書・副教材

高等学校 科学と人間生活(第一学習社)
---------------------

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	理学的認識の形成につながる基本的な知識や技能を身につけている。	さまざまな情報をうまく取捨選択し、自分の考えを深めようとしている。	興味をもって授業に参加し、主体的に課題に取り組んで自分の考えをもととしている。
評価方法	・定期考査・小テストの結果 ・プリントの記入内容	・定期考査・小テストの結果、実験観察のレポート結果 ・プリントの記入内容	・授業中の発言、実験態度 ・プリントへの取り組み、記入内容 ・生徒による自己評価

4、学習 および評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

		単元および学習の内容	時数	評価規準
一学期	4月	第1章 物質の科学 1 材料とその利用 プラスチック、金属、資源の再利用	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事物を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性について理解している。(a)</li> <li>・得た結果から導き出した自らの考えを的確に表現する。(b)</li> <li>・身近な事物・現象に関心や探究心をもっている。(c)</li> </ul>
	5月			
二学期	6月	第2章 生命の科学 1 ヒトの生命現象 タンパク質、遺伝子	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身につけている。(a)</li> <li>・身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断している。</li> </ul>
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	第3章 熱や光の科学 1 熱の性質とその利用 熱運動、電流、エネルギー		
	11月			

				(b) ・授業に積極的に参加し、科学技術に対する関心を高める態度を身につけている。 (c)
三 学 期	1 2月 1月 2月 3月	第4章 地球や宇宙の科学 1 身近な自然景観と自然災害 火山活動、地震活動、水の働き、災害と防災	20	・これからの科学技術と人間生活のあり方について理解し、課題についての自分の考えをもっている。(a) (b) (c)

計78

5、学習にあたって (アドバイスなど)

欠席・遅刻をしないようにし、授業には毎時間、集中して取り組むこと。重要な事項については、必ず授業中に理解し、頭に入れて考査等に臨むこと。

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2	学年	3	科	機械科
----	----	----	---------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察などをとおして理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2、使用教科書・副教材

高等学校 改訂科学と人間生活（第一学習社）

3、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	4月	第1章 物質の科学 1 材料とその利用 プラスチック、金属、資源の再利用	期末考査	3 } 2
	5月			
	6月	第2章 生命の科学 1 生物と光 光合成、		
	7月			
二学期	8月	植物の生育、視覚 第3章 熱や光の科学 1 熱の性質とその利用 熱運動、電流、エネルギー	期末考査	2 } 5
	9月			
	10月			
	11月			
三学期	12月	第4章 地球や宇宙の科学 1 身近な自然景観と自然災害 火山活動、地震活動、水の働き、災害と防災	期末考査	2 } 0
	1月			
	2月			
	3月			

計 78

4、評価の方法

主体的な言語活動	・授業内容の説明や発問はできるだけわかりやすい言葉で行う。
関心・意欲・態度	授業への取組、出欠遅刻状況など
思考・判断・表現	発言内容、授業ノートなど
観察・実験の技能	実験・観察の態度とレポートなど
知識・理解	定期考査、小テストなど

5、学習にあたっての注意とアドバイス

欠席・遅刻をしないようにし、授業には毎時間、集中して取り組むこと。重要な事項については、必ず授業中に理解し、頭に入れて考査等に臨むこと。